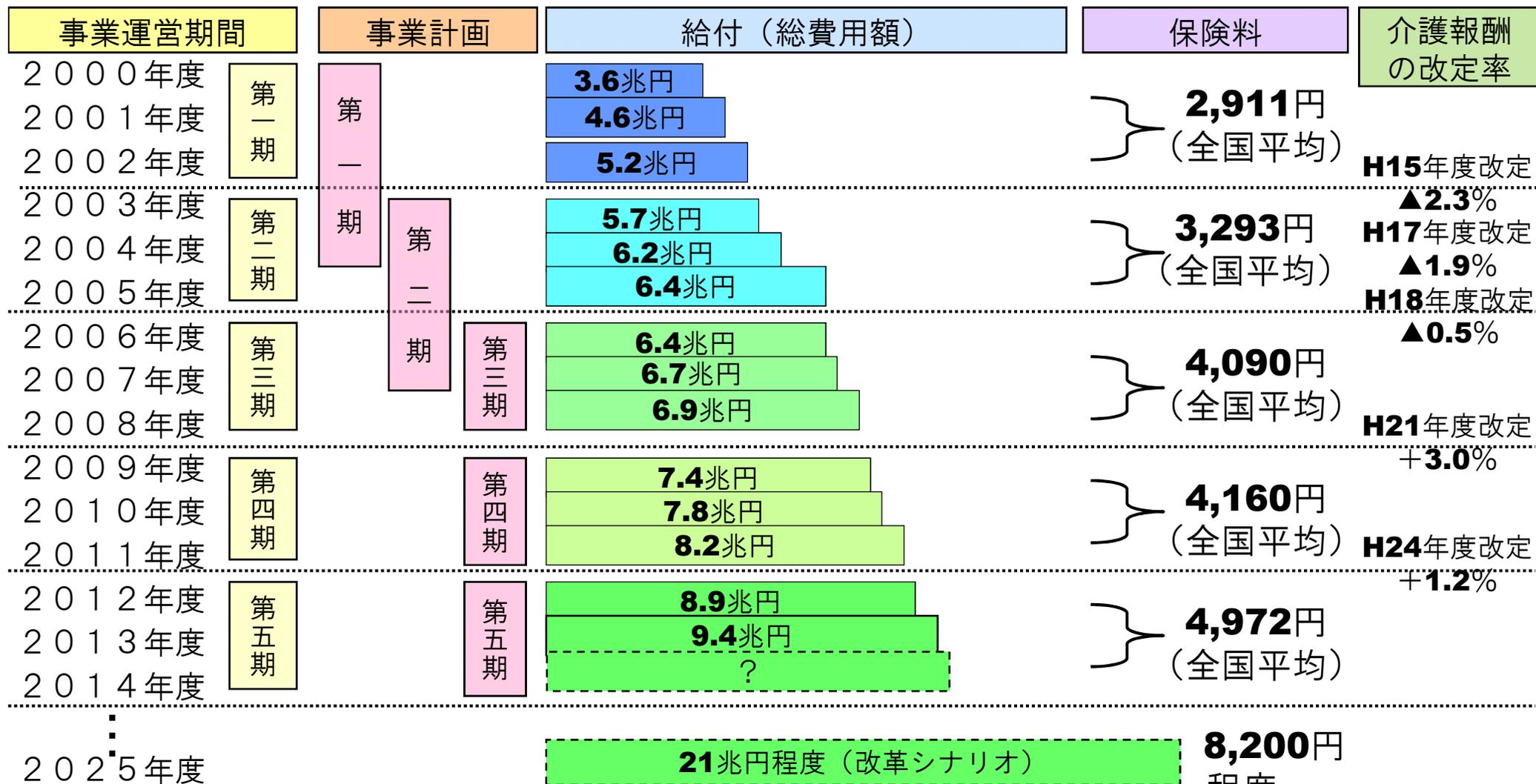


# 介護給付と保険料の推移

- 市町村は3年を1期（2005年度までは5年を1期）とする介護保険事業計画を策定し、3年ごとに見直しを行う。
- 保険料は、3年ごとに、事業計画に定めるサービス費用見込額等に基づき、3年間を通じて財政の均衡を保つよう設定される。（3年度を通じた同一の保険料）



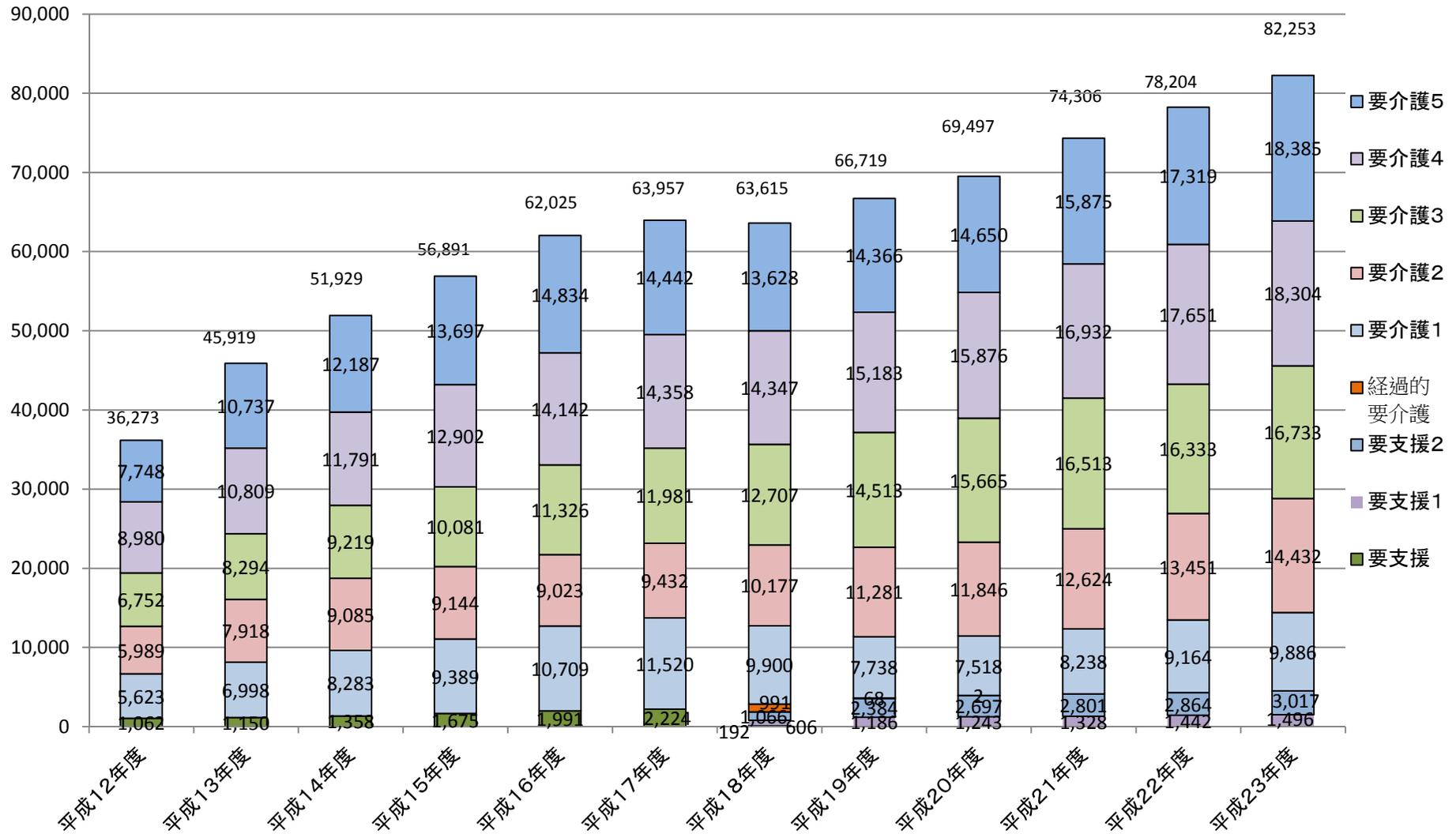
※2010年度までは実績であり、2011～2012年は当初予算、2013年は当初予算(案)である。  
 ※2025年度は社会保障に係る費用の将来推計について(平成24年3月)

※2012年度の賃金水準に換算した値

# 介護費用の推移

～平成23年度は8兆2千億円で、11年間で約2.3倍に～

(単位:億円)

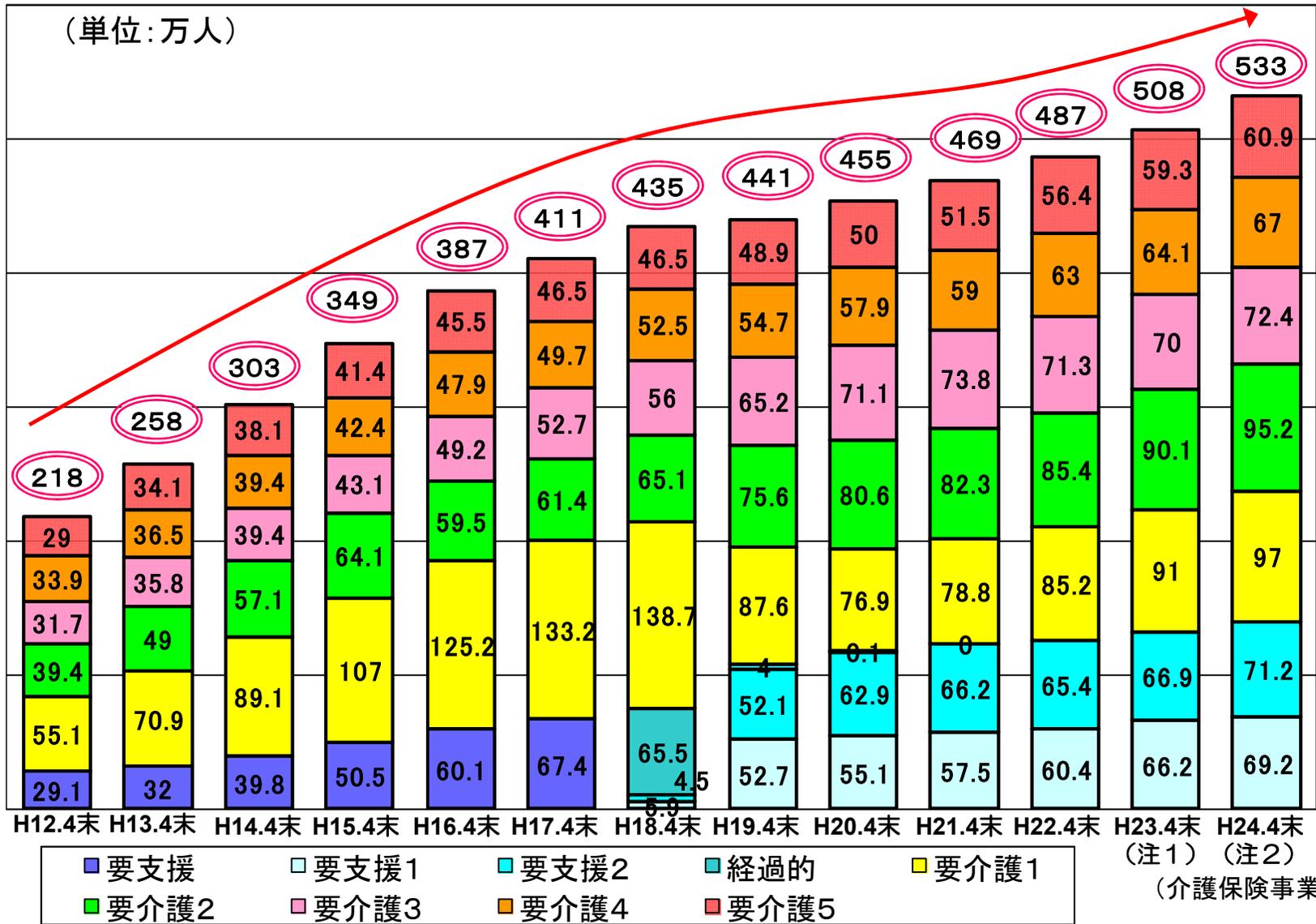


(注意) 各年度は3月～翌年2月サービス実施月。特定入所者介護(介護予防)サービス費を含む。平成18年度について要支援は3月分、経過的要介護は4月以降分  
平成12年度には未区分、平成12～17年度には非該当、平成18年度以降には経過的要介護が精算分も含めて存在するため合計が合わない。

(資料) 介護保険事業状況報告年報。

# 要介護度別の認定者数の推移

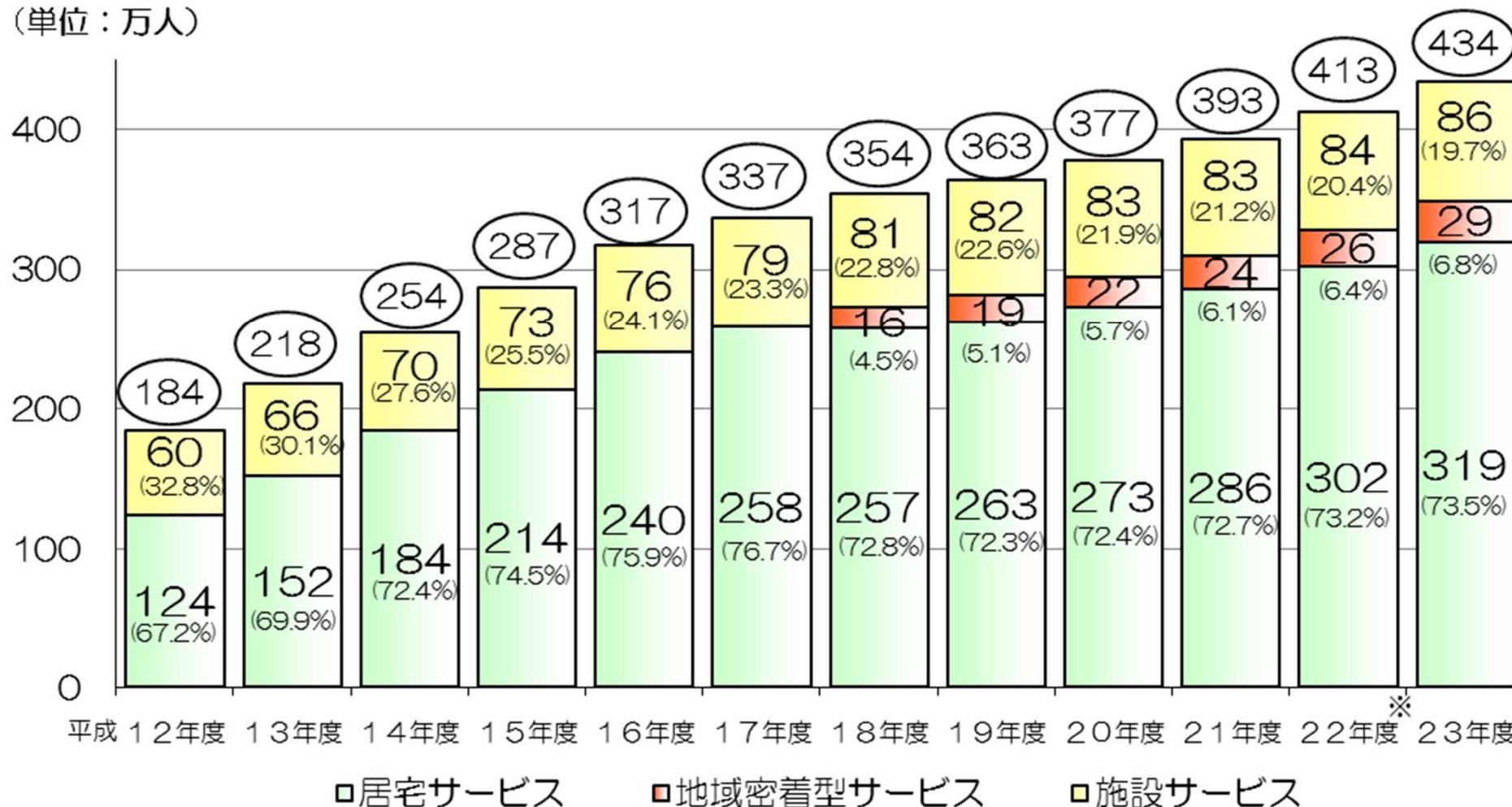
要介護（要支援）の認定者数は、平成24年4月現在533万人で、この12年間で約2.44倍に。このうち軽度の認定者数の増が大きい。また、近年、増加のペースが再び拡大。



注1) H23.4は、陸前高田市、大槌町、女川町、桑折町、広野町、榊葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町が含まれていない。  
 注2) H24.4は、榊葉町、富岡町、大熊町が含まれていない。

# 介護保険サービス利用者は、平成23年度で434万人で、 11年間で約2.4倍に。（種別別平均受給者（件）数（年度平均）

（単位：万人）



（注1）（ ）は各年度の構成比。

（注2）各年度とも3月から2月サービス分の平均（但し、平成12年度については、4月から2月サービス分の平均）。

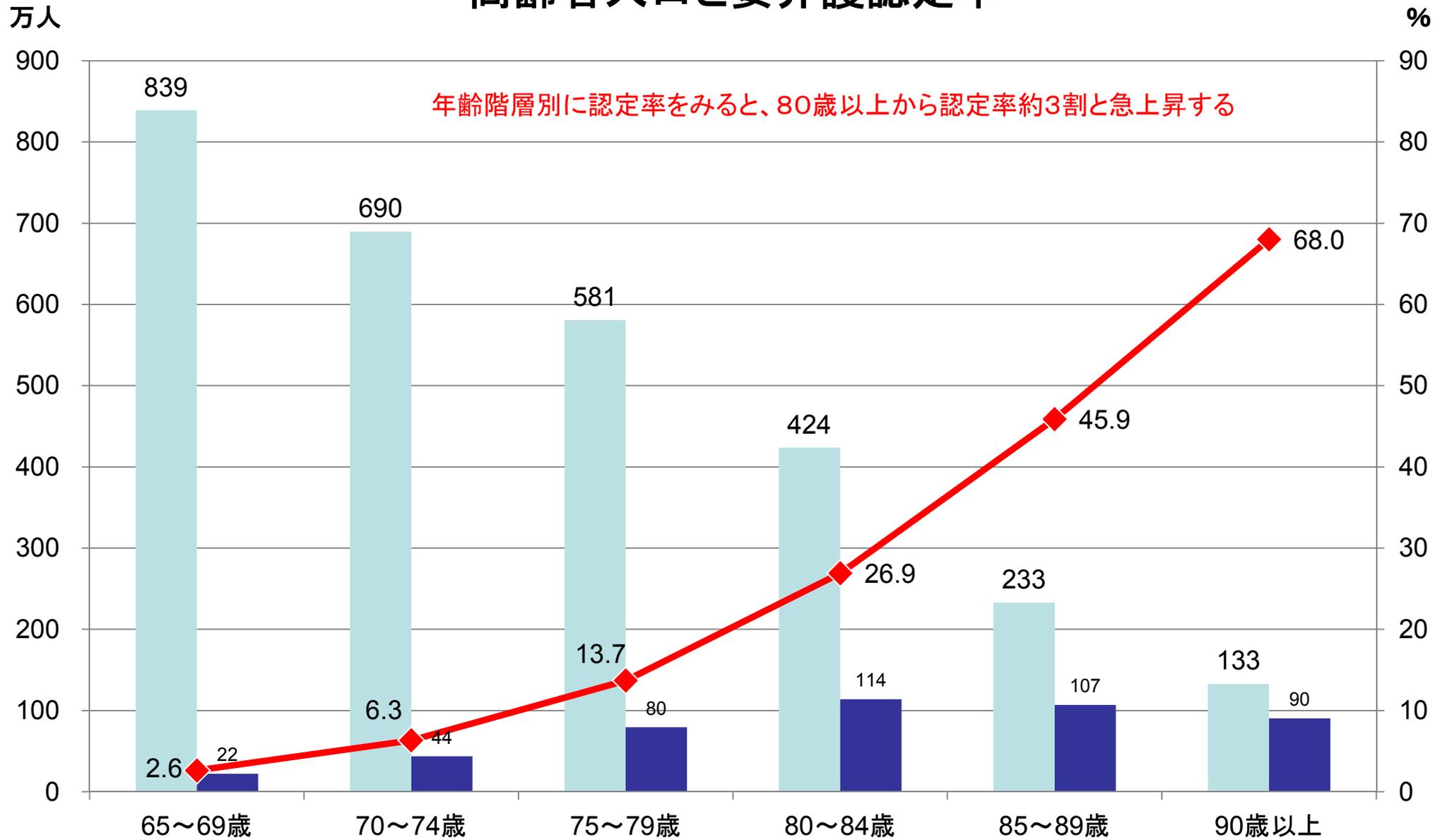
（注3）平成18年度の地域密着型サービスについては、4月から2月サービス分の平均。

（注4）受給者数は、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス間の重複利用がある。

※東日本大震災の影響により、22年度の数値には福島県内5町1村の数値は含まれていない。

対前年度の数値は、福島県内5町1村を除いて比較している。

# 高齢者人口と要介護認定率



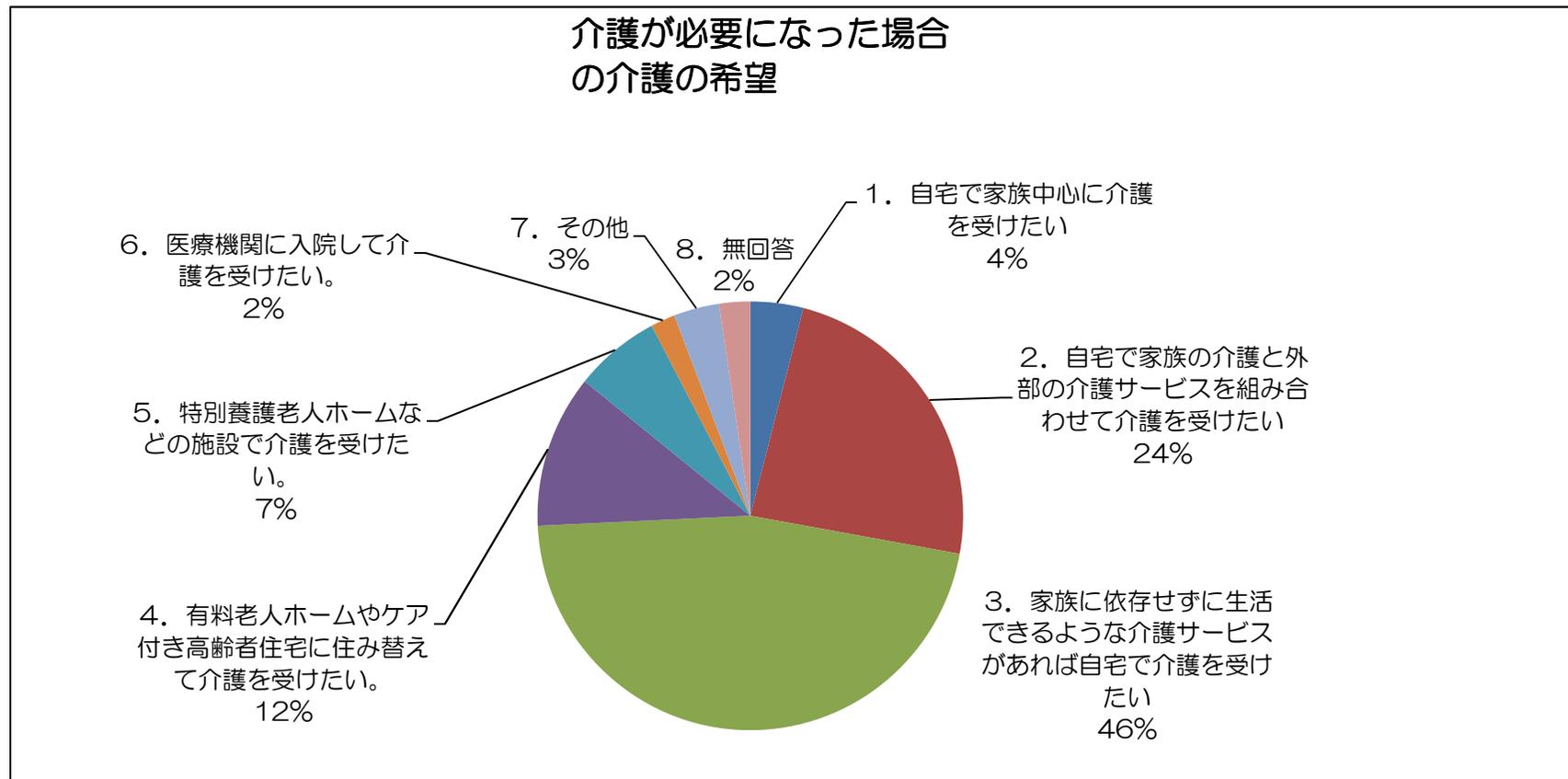
【出典】介護保険事業状況報告

人口 認定者数 認定率(右軸)

# 介護の希望（本人の希望）

## 【自分が介護が必要になった場合】

最も多かったのは「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」で46%、2位は「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」で24%、3位は「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅に住み替えて介護を受けたい」で12%。



# 介護の希望（家族の希望）

## 【両親が介護が必要になった場合】

○ 最も多かったのは「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けさせたい」で49%、2位は「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けさせたい」で27%となっており、前記自分の場合と1位と2位が逆転している。

